

くまむら

議会だより

2011.1.25

62号



地域を守る消防団 (平成23年出初め式)

球磨村世帯数 1,626世帯
人口 4,517人・男 2,139人・女 2,378人
(H22年12月31日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

目次

12月定例議会	2～3
新年のご挨拶	4
一般質問	5～11
旬の話題	12

12月定例議会

千寿園増築整備事業補助金として 3,500万円を承認

平成22年12月第7回議会定例会は、12月13日から17日までの5日間の会期で開かれました。議案では、球磨村生活改善センター条例等の一部を改正する条例の制定、平成22年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算案3件、人吉球磨広域行政組合格約の一部変更ほか1件、球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意1件、人権擁護委員候補者の推薦2件の人事案件、「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」に関する意見書の提出などの10議案で、慎重に審議され、いずれも原案のとおり可決、同意等しました。

一般質問には7名の議員が登壇、行政課題・施策などを村執行部に質しました。

定例会初日には、柳詰議長が開会を述べ、9月定例会以降の諸般の報告、監査報告が行われた後、会議録署名議員の指名、会期の決定、一部事務組合議会（人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合）が報告さ



定例会初日には、柳詰議長が開会を述べ、9月定例会以降の諸般の報告、監査報告が行われた後、会議録署名議員の指名、会期の決定、一部事務組合議会（人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合）が報告さ

定例会初日には、柳詰議長が開会を述べ、9月定例会以降の諸般の報告、監査報告が行われた後、会議録署名議員の指名、会期の決定、一部事務組合議会（人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合）が報告さ

れました。次に、「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」に基づく保育制度に對し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める請願書の請願理由の説明の後、本会議での審議が決定しました。続

別会計補正予算のほか、人吉球磨広域行政組合格約の一部変更、一部変更に伴う財産の処分についての提案理由の説明が、柳詰村長からありました。定例会2日目の14日は、一般質問に5名の議員が登壇、3日目は、自宅審議。16日の4日目には、一般質問に2名の議員が質問を行いました。一般質問の後、球磨村生活改善センター条例及び球磨村情報通信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてのほか、平成22年度一般会計並びに、特別会計補正予算が審議されました。最終日の17日には、人吉球磨広域行政組合格約の一部変更、同組合格約の一部変更に伴う財産の処分についてほか、球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意1件、人権擁護委員候補者の推薦2件の審議後、

議員発議による追加日程として、「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」に基づく保育制度に対し、

現行保育制度の拡充を求め、国への意見書の提出が審議され、議会構成の文教・厚生常任委員会委員連名

による意見書を、衆、参議院議長、内閣総理大臣、財務、厚生労働大臣宛に提出する旨、決定されました。

条例

○議案第41号

・球磨村生活改善センター
条例及び球磨村情報通信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

球磨村改善センターの名称を、球磨村コミュニティセンター清流館改名による条例改正です。

補正予算

○議案第42号

・平成22年度球磨村一般会計補正予算(第4回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、72,192千円追加し、歳入歳出予算の総額を3,081,473千円とするものです。

歳出の主なものとして、総務費では、役場駐車場整備測量設計委託料3,500千円、民生費では、特別養護老人ホーム千寿園増築整備事業補助金35,000千円、後期高齢者医療費過年度分療養給付費負担金に9,023千円、出生祝い金1,300千円が、計上されました。衛生費では、人吉球磨広域行政組合負担金2,204千円の減額、同じく農林水産業費の

廃校活用関係工事請負費3,000千円が減額計上されましたが、同目の備品購入費3,000千円が増額されました。消防費では、火災報知器設置補助金7,880千円、消防団第1分団ポンプ格納庫兼詰所建設費2,162千円が計上されました。火災報知器設置補助金については、各世帯への火災報知器の設置を推進するものです。

○議案第43号

・平成22年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出にそれぞれ、1,678千円を追加し、歳入歳出総額それぞれ607,678千円とするものです。

○議案第44号

・平成22年度球磨村介護保険特別補正予算(第2回)

人事案件

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、1,599千円を追加し、歳入歳出総額を586,031千円とするものです。

○同意第5号

・球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

球磨村固定資産評価審査委員会委員に次の方が選任同意されました。

立野 利丸 氏

(立野地区)

○諮問第2号

・人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者に次の方が推薦されました。

松舟 喬 氏

(山口地区)

○諮問第3号

・人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者に次の方が推薦されました。

上原 正博 氏

(木屋角地区)

その他

○議案第45号

・人吉球磨広域行政組合規約の一部変更について

○議案第46号

・人吉球磨広域行政組合規約の一部変更に伴う財産処分について

意見書

○発議第6号

・「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」に基づく保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める意見書

議員発議として、同意見書を内閣総理大臣等へ提出するものです。

新年のご挨拶



球磨村議会議長

柳詰 正治

新年明けましておめでとうございます。いよいよ。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素からの議会活動に対する深いご理解、温かいご支援とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、今日の社会経済状況は、円高、株安などを要因とした長引く不況により、景気回復の足取りは重く、所得や雇用情勢も極めて厳しい状況が続いております。このような中、地方行政におきましては、地方分権型社会の到来を受けまして、自己決定・自己責任による自治体運営が求められるなど、新たな環境に直面し、まさに行政の真価が問われている時代といっ

ても過言ではありません。

球磨村におきましては、基幹産業であります農林業の振興、商工業の活性化、住環境の整備、高齢者福祉の充実、少子化対策等々、まだまだ多くの課題が山積いたしております。

村民生活への不安要因が多い状況ではありますが、今年の干支(えと)である「卯」という字は、草木が地面を覆う状態を表しているそうです。本年が、草木が茂って大地が潤い、実りの多い年になることを期待しております。

球磨村議会では、二元代表制の一方としまして、これまでも行政を監視、政策の提案、各般の提言を行うなど、その役割を果たしてきましたが、今後も「住民の皆様とのつながり」を大切にし、より皆様の声に耳を研ぎ澄まし、その声を施策に反映させることが益々重要になってくると考えております。

また、限られた財源で効率的に行政運営を行い、質の高いサービスの提供に努めることができるか、私ども議会も機能を十分に発揮し、住みよい村づくりを、めざしていきたいと考えます。

昨年3月には、議会議員が地位による影響力を利用して、自己の利益を得るこ

とができない球磨村議会議員政治倫理条例を制定しました。5月の球磨村議会議員選挙においては、それまで12名の議員定数から1名減の11名の議員定数とし、議会改革、議会の更なる活性化、機能強化を行い、「住民が参画できる開かれた議会」に邁進していくとともに、村民皆様の期待に応えるべく、議会制民主主義に対する信頼を高めるため、より一層、誠心誠意尽くしてまいり所存であります。

今後におきましても、安全で活力と思いやりのある、より豊かな球磨村が実現いたしますよう努めてまいりますので、村民の皆様のお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、新しい年が村民皆様方にとりまして、より実り多き年でありますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成二十三年一月



十二月定例 一般質問

ふれあいまつりの 日程変更はできま せんか

長
いちばんいい時期では
ないかと思えます

田代 利一 議員

- 一、福祉の村づくりについて
- 二、農業振興について
- 三、教育文化について
- 四、シルバー人材センターの利用状況について

田代議員

福祉の村づくりについて、高齢者の方々が安心して生活できる潤いある暮らしの実現が望まれています。今後、福祉の施策について村長はどのような考えを持っているのか伺います。

村長

村長就任以来「やすらぎと思いやりの地域社会づくり」を主要施策の一つに掲げて各種事業を展開してきました。特に、在宅での生活が可能と

なるような事業、また、要介護になる状態を少しでも先延ばしするような事業に取り組んできたつもりです。

高齢者でも、自分のことは自分ででき、社会のいろいろな活動にも参加できることが理想です。そうゆう施策を進めることが重要であると考えています。

田代議員

高齢者にとって、ふれあいサロン事業が大変人気になってきているようです。参加者はどれくらいですか。

住民福祉課長

村内16会場を実施しており年間の参加者が272人です。それに係るボランティアの人が90人おられ、合計で362人となっています。

田代議員

村民が健康で生活できるよう、ふれあいサロン事業等をさらに充実したものにして下さい。

次に、本村にとって農業は基幹産業であり、その振興が本村の発展に必要不可欠です。しかし、地形的に条件が悪く生産性が低い農業経営です。このような中、これからの農業振興についての考えを伺います。

村長

最近の農業情勢はT P P交渉で非常に揺れ動いています。村とし

ても、畦畔コンクリート事業を平成5年から実施しており、これまで100戸以上の農家が利用されています。また、田畑整備事業が、平成16年度からこれまで23戸の農家で事業を実施しています。このように農家支援を行いな

田代議員

次に、教育文化の中で、特に徳育は重要と考えています。学校現場における文化芸術の取り組みや地域に根ざした伝統文化とのかかわりについての考えを伺います。

教育長

徳育については、郷土芸能の保存継承を学校でやるかについて協議を進めているところとです。

田代議員

次に第31回ふれあいまつりが10月16、17日に行われました。2日間の集客数を教えて下さい。

総務企画課長

県の観光統計では、2日間で7500人との報告があつています。

田代議員

ふれあいまつりも以前は11月に行われていたと思います。今年の10月には、村民体育祭や駅伝大会も実施され、農繁期とも重な

り、まつりの日程を変更した方がいいのではないかと思います。

村長

私は、いちばんいい時期ではないかと思えます。それは、後に日程をずらすと他の町村の祭りと重なりま

す。そうなると、お客さんが激減する可能性もあるわけです。企画委員会で検討し日程を決めますが、今のところ10月の第3土日しかないと思います。また、同議員は、シルバー人材センターの利用状況についても質しました。

(質問時間60分)



毎年多くの人でにぎわうふれあいまつり

地方バス路線の赤字補填に対する今後の対応は

村長 将来的な村内交通体系の方法はないか検討しています

- 高澤 康成議員
- 一、交通基盤の整備について
 - 二、観光振興について
 - 三、行財政について
 - 四、事業福祉の充実について

高澤議員 交通基盤の整備について伺います。球磨村総合計画の、第4次実施計画の中で、地方バス路線の維持対策事業費は、赤字に対する補填です。今後の財政的な負担についての対応を伺います。

村長 実質的に、地方バス路線は赤字で、ご案内のように経常欠損額に対する補助を村として負担しています。

高澤議員 現在、球磨村は福祉バスも運行しています。将来的に赤字を補填してまでも残すべきか伺います。

村長 村で公共的に走らせているスクールバスあるいは福祉バスを含め、

村内交通体系の方法がないか検討しているところです。

高澤議員 次に、観光振興について伺います。カワセミ会事業を立ち上げ活動を行っている状況ですが、特産物の普及、宣伝効果を数字でお答えください。

産業振興課長 平成21年度の物産館の売上げは、東京カワセミ会4万円程、関西カワセミ会2万6千円程、東海カワセミ会2万円、九州カワセミ会6万円程です。

高澤議員 平成22年度予算では、110万円程計上してありますが、税金を使って事業運営をしていくのであれば、データを収集し、分析を行い、住民の所得の向上につなげて行かなければ、ただの慰安旅行でしかないと考えます。今後の考えは。

村長 村のPRその他、カワセミ会のメンバーを通じ周囲の人達に教えてもらう、そういうことも宣伝的な効果の一つに含めていただきたいと思います。

高澤議員 次に、グリーンツーリズムの拠点整備について伺います。三ヶ浦地区において3日間住民説明会を行い、その後、先進地視察研修も行う

ているようです。執行部として説明義務が果たされたか伺います。

産業振興課長 今後の運営等について心配される声もありましたが、一緒にやっていくというような事で、ご理解いただいたと思っています。

高澤議員 事業計画、事業運営を正しく住民に伝えておかなければ4月からの運営が厳しいと思います。今の状況で果たして事業運営をやっている自信があるのか伺います。

村長 実際経営をしていくには、法人化をするために、地域のメンバーが入る必要があると思います。

産業振興課長 地域の方々の理解を求めながら、目標であります集客数を達成するため一生懸命頑張っていると思います。

高澤議員 次に、医療費の助成について伺います。学校保険法による定期健診について、現在の治癒証明書提出率について伺います。

教育課長 内科75%・歯科39%・眼科70%・耳鼻科38%で若干低い状況で



す。引き続き治癒に向けて努力して頂いているところです。

高澤議員 促進計画の中に児童福祉についてうたっていますが、抜本的計画案はうたってありませんが村長の考えを伺います。

村長 医療費の助成拡大は、やらざるを得ないだろうと実は腹を決めています。どこまでやるかは財政等も考えながらやりたいと思います。

その他、同議員は、情報通信網整備の有効活用についても質しました。
(質問時間60分)

農地の保全と農林業の活性化対策は

長 事業活用による行政支援と産物の開発、販売促進を積極的に展開します

毎床 文博 議員

一、農林業の活性化について

毎床議員

〓村は、豊かで活力に満ちた産業づくりとして農林業の振興を進めています。特に水稲は、専業、兼業農家を問わず栽培されていますが、近年の担い手減少などから休耕田が増加することが懸念され、畑地、樹園地も点散的に荒廃地が増えるのではないかと心配されます。

このような現状をふまえ、健全な農地の維持と農林業の活性化について、伺います。

村長

〓平成20年度に、耕作放棄地の調査をしています。約100ヘクタールの転作が実施され、内60ヘクタールが作付けされていない水田となっています。また、階層別の農業就業者数は、平均年齢が60.2歳で、65歳以上が62.9%を占めています。

農地荒廃については、抜本的な施策

が必要であり、田畑までの道路整備の経費補助と、新たな事業の立ち上げを検討しています。

産業の活性化については、農林産物の開発、販売促進を積極的に展開する必要があります。

毎床議員

〓本村は棚田が多く、景観的な魅力はありますが、仕事は大変で棚田が荒地になるのではと心配です。農地流動化による集約をすすめ、家畜の放牧や獣害に強い作物の導入で、保全是できないものか伺います。

村長

〓農地集積により農家経営をしていくには厳しく、また、集落も含め全体的な農地を守るためのエネルギーも少ないのが現実です。今までのような補助制度では農地は守れない状況にあり、農家の平等性も考えた事業の展開、行政支援を積極的に進めていきます。

毎床議員

〓一部の地域ではなく、村全体が活性化する事業になればと思います。雇用と委託に関連してシルバール人材センターは重要な役割を担っていると期待していますが、取組みについて伺います。

副村長

〓農地保全との関りは、農業の仕事と重なり希望通りはいきませんが、草払いなどの短期的な保全作業は

受けています。

毎床議員

〓本村でもトラクターなどの大型機械が導入されており、労働条件はよくなってもコスト高が心配されます。行政支援や指導体制のなかで受委託促進ができると、経営的にも楽になると思いますが、村長の考えを伺います。

村長

〓単に機械だけに支援して農地が守れるかどうか、農業をする人の意欲が課題と思います。国県の事業で、中山間地直接支払い制度は、自分の農地を守りながら環境保全にも使う、このような有効な制度を活用していくことを考えています。

毎床議員

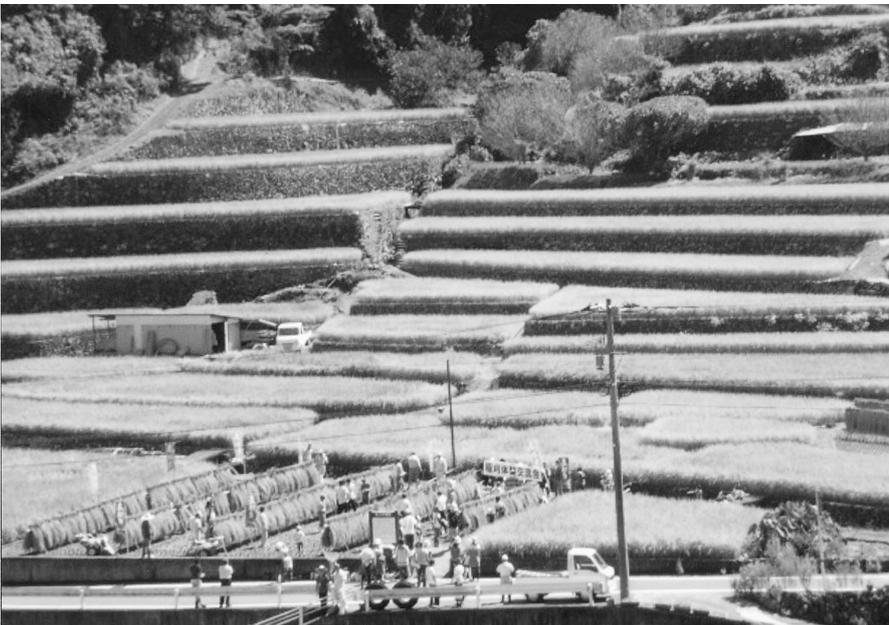
〓次に、本村の林産資源を開発することに、観光としても大きなアピールができるのではないかと、また、6次産業化の促進による活性化についても伺います。

村長

〓特用林産物として、筍、椎茸などがあります。竹林の園

地化を推進しています。意欲のある人を支援し、育てていくことが振興に繋がると思います。6次産業については、生産から販売まで一連して産業化することであり、村内で生産されたものを加工し付加価値を高めて、優良的に売れる産物をつくるのが、農業振興の大きな課題だと思います。

(質問時間50分)



黄金色の稲穂と石垣棚田

役場駐車場の混雑解消を

長 新しい駐車場を計画しています

多武 義治議員

- 一、林業の振興について
- 二、閉校した小学校の活用策について
- 三、役場駐車場の混雑解消について

多武議員

磨村で戦後1万ヘクタールを超える植林がなされており、せっかく植えた木をお金に変える方策を考えることが、今、最も大事です。そこで、村長の林業に対する認識を聞かせて下さい。

村長

林業は、村の大きな産業の一つであると思います。特に、林業の役割や森林の持っている機能が、これから大事にされる世の中になると思います。

多武議員

林業振興で大事なことが幾つかあると思います。まず、シカ被害対策です。これは、林業振興以前の

問題ですが、現在、抜本的な対策が必要になってきていると思います。他にも、植林されて、その後、下刈や間伐などの森林整備の所有者負担額をどう減らしていくかが大切です。所有者負担が発生しない事業も幾つかあります。事業の採択基準の問題もあると思います

が、それがクリアできなければ、どうしたらクリアできるか、考えながら、このような事業を導入していく必要があると思います。合わせて、現在の林業従事者数を確保していくことも重要です。また、新聞などでカーボンオフセットという言葉を目にします。これは、例えば、企業が排出する二酸化炭素を森林が吸収したことにして、企業がその森林に対して森林整備を行うための資金を出すような仕組みです。こういったシステムを取り入れることも大事です。球磨村にも、山の専門家がたくさんおられますので、特に植えた木をお金に変える方法などを議論する委員会なるものをつくる必要があると思います。

村長

林業振興は大事だと思います。検討させて下さい。

多武議員

次に、旧神瀬小の跡地活用を考える協議会の中で、活用の

アイデアを全国に募集したらという意見が出ました。これまで、村のホームページに何件の書き込みがあったのか。その内容はどのようなものだったのか伺います。

村長

4件の提案がありました。その内、水俣市の人々が、教室を利用し融合キノコの栽培をしないかというものがありません。現時点では、協議会での議論には材料が乏しいことも考えられるので、少し長い目で応募の様子をみる必要があると思います。

多武議員

村がやることになれば予算が必要になりますので、できるだけ民間資本を入れながら、活用策を探っていくことが重要だと思います。

次に、役場駐車場の混雑解消について、早急な対策はないのか伺います。

村長

役場下の、丸尾橋の横にある土地を利用し、40台ぐらい収容できる駐車場を計画しています。まず、地権者にご理解をいただいで進めていきたいと思っています。

多武議員

6月議会でも、この問題



混雑する役場駐車場

については質問しました。その時は、例えば役場職員を5班に分けて、毎日1班ずつ一勝地駅下の空地に車をとめて、健康増進のため歩いてくるのか。要するに、お金をかけないで何とか解決できないかというのが本意でした。ただ、考えていただいたことに一応の評価をしています。

(質問時間50分)

渡地区の用排水対策は

長 意識調査や座談会など 村 進めていきたい

舟戸 治生議員

- 一、渡地域の排水及び合併浄化槽の普及について
- 二、スクールバスの普及について

舟戸議員

渡地区は用水と排水が一緒になり、農業集落排水を全体的に進めようとなりましたが、地元の合意が得られず進んでいないとの9月の答弁でした。当時の本村の取り組みについて伺います。

村長

平成3年に地下、今村地区の農業集落排水を受益者20戸で計画しましたが、浄水処理施設の事業費が高く、地元負担金が4割で、負担できないと、見送られました。平成11年度から補助制度も8割に引き上げられ、13年に共同排水施設を計画しましたが、同じく地元負担金に耐えられないことで実施にいたりませんでした。

舟戸議員

農業集排水が必要な地

域の意識調査をされるか伺います。

村長

意識調査をぜひ実施し、地元の説明会や座談会などもやっていきたいと思えます。少なくとも地元負担をできるだけ少なくするような方策の実施をしたいと思えます。

舟戸議員

渡地域の、合併浄化槽の普及率と生活排水の排出先を伺います。

健康衛生課長

今村地区は26戸中5戸が設置済みです。排出先は、地下の公民館から今村の道路右側、堤防側の方は、堤防についている側溝に、道路と鉄道の間の方は、生活排水と農業用水が混水排水し、J Rと国道をくぐり球磨川に流れています。

舟戸議員

同地区に合併浄化槽を設置した時、汚水の排出先は農業に悪影響を与えないようにできるか伺います。

健康衛生課長

混水排水をしているので今のところ安全な排水でないので、球磨川の樋門の方へ測量を考えています。

舟戸議員

現時点で生活排水が農業に悪影響を与えている以上、村は生活排水の処理施設の整備をするべきと思えます。

健康衛生課長

以前に1キロメートルで7300万円の工事計画がありました。再度、縦断測量等を行い、検討していきます。

舟戸議員

次に、スクールバスの運行拡張について、路線変更の時期はいつごろか伺います。

教育課長

スクールバスのルートの見直しを、現在総務課、住民福祉課、教育委員会で協議を行っており、新年度から実施していきます。

舟戸議員

スクールバスが通っていない所もあり、公平面で欠けているので、タクシーを利用した送迎もできないか伺います。

村長

スクールバス運営審議

会で、子供たちが安心、安全に登下校できるよう全面的な見直しを考えていますので、ご理解下さい。
(質問時間50分)



混水の農業集落排水 (渡地区)

シカネットの補修費に村から助成ができないか

長
それぞれの意見を聞く
村
必要があります

犬童 數元議員

一、防護柵(シカネット)について
二、林道の維持管理について

犬童議員

近年、シカの山林被害が多くなり、シカの侵入を防ぐネットを張っていない新植地は、食害により全滅状態のようです。国、県においては、食害を防ぐためシカネット設置事業に取り組んでいます。そこで、平成19年度以降の村内で実施した、シカネット設置状況はどのようになっていますか伺います。

村長

シカによる山林等への被害が甚大であることは承知しています。村としても、有害獣捕獲事業に取り組み被害の軽減を図っています。シカの侵入を防ぐネット設置に對しては、森林組合が行う造林事業の植林、下刈、間伐を実施するとき

一体的に行うネット設置であれば、補助の対象になっていきます。これまでに、14万5000メートルほどのネット設置を実施しています。

犬童議員

また、シカがネットにかかり破れた場合、補修しなければいけません。補助がないため所有者負担になります。国、県に對して補修費の助成をお願いしたいと思います。村長の考えを伺います。

村長

シカがネットにかかり破れた場合の補修費についての補助はありません。したがって所有者負担になります。このよう状況については、球磨郡の主軸事業の要望で県にも話をしていますし、国にもシカ被害対策の要望をしているところです。

犬童議員

村としてもネット補修費に對しての補助が必要と思いますが。

村長

補助となれば、税金を投入することにになり、それぞれの意見を聞かなければならないと思います。検討させていただきます。

犬童議員

また、植林してもその後、下刈しない人が増えています。所有者負担が大きいというのが理由のようです。村として、何らかの助成が必要だと思いますが。

村長

大変、厳しい財政状況の中で慎重にならざるを得ません。助成となれば長期的に村の負担が伴います。この辺を含めながら検討しなければいけないと思います。

犬童議員

シカ解体処理場の、現在の状況についてどのようになっていますか。

産業振興課長

今年度のシカの捕獲数は486頭です。その内、解体処理場に持ち込まれたのが、11月末で79頭になっています。

犬童議員

加工した肉の販売はどこですか。

産業振興課長

かわせみや森林組合(球泉洞)等で販売しています。

犬童議員

解体処理場の事業が成功するようお願いしておきます。次に、林道柳谷線が2ヶ所にわたって舗装が傷んで1ヶ所は砂利道になっています。車の通行に支障をきたしていますが、補修の計画はない



シカの侵入を防ぐネット設置状況

のか伺います。

村長

舗装の一部の道路状況が悪くなっていたため、砂利を入れて応急処置をしました。今後、大雨によりさらに洗い流される可能性がありますので予算を見極めながら整備していきます。

(質問時間45分)

宮園地区内JR ガード下の交通難 の解消は

長 議会と共に、国、県に
村 要望したい

嶽本 孝司 議員
一、JRガード下の道路の改良に
ついて
二、渡利城の観光化について

嶽本議員 〓 宮園地区の水防対策の一、淵田酒店から菊竹商店までの道路が狭く、交通難所になっております。村長におかれましては、毎日通行されておられますので交通難について伺います。

村長 〓 宮園地区のかさ上げが、平成21年度に終わりました。村としても一体的にこの部分のかさ上げもお願いしたところ、道路管理は、県、上はJR鉄道で、今のところ現況維持の状況です。

嶽本議員 〓 水防対策として国交省がかさ上げもすべきだと思えますが。

村長 〓 水防対策として、家のかさ上げは国交省、県道のかさ上げは県と、事業者が別々なので村としても

ずかしいと思っています。議会と共に国、県に要望していきたくと思っています。

嶽本議員 〓 一世紀に渡り、この部分はそのままの状態です。桁下高さ3・8メートルでは、大型車輛は重機を降ろして自走し、再度積み込んで通行しています。また、かわせみ温泉への2階建ての観光バスは通行できず一勝地駅からマイクロバスでピストン送迎です。

村長 〓 県が取組む事業で、村としては、県に拡幅をお願いしています。**嶽本議員** 交通難解消策として次の様に考えてみました。球磨橋からJRの路線を横断し、一勝地駅の山手側を通るルートはないか、また陸橋の工法は考えられませんか伺います。

村長 〓 線路横断はJRが認めません。山口踏切の道路拡張時に難をした例があります。陸橋も考えられますが、道路延長を要します。**嶽本議員** 〓 線路横断の上に陸橋を造り一勝地駅の山手側を通るか、また、宮園地区は現在、売地の看板が数箇所ありますので、陸橋にしたとき道路延長が確保できると思えます。また、近隣の陸橋としては、湯前と多良木間の

くま川鉄道上に陸橋が完成しました。芦北町から3号線に出る鹿児島本線上に陸橋が完成しておりますので陸橋の案も検討して下さい。

次に地名として出ています城山、渡利城について観

光化はできないか伺います。

村長 〓 将来的な観光の資源であることは認識しております。

嶽本議員 〓 渡利城は運動公園に隣接しており、トレッキングコースや遊歩道を含め、一体的な公園整備は考えられませんか伺います。

村長 〓 文化財の調査も必要ですし、観光客が登る道路整備も必要と思えます。

嶽本議員 〓 渡

利城、城山には財政難である村を助けてくれる宝があることを念じ、質問を終わります。

(質問時間30分)



交通難所のJRガード下 (宮園地区)

旬の話題

祭り年頭考

一勝地阿蘇神社 宮司 尾方 嘉春



一勝地阿蘇神社・大無田阿蘇神社は、大同2年に一勝地・三ヶ浦の人々に守護神として、今日まで1200年もの長きに亘り御鎮座頂いています。

私達は、毎日の生活の中での風習や伝統文化を守り伝えてきました。春の祈年祭・初だね祈禱に始まり、秋の感謝祭・新嘗祭まで、この球磨村一勝地三ヶ浦地区に残されている祭りだけでも沢山あります。

「梨の実や神に捧ぐる二つ三つ」秋の収穫感謝祭である山神祭に詠まれたこの歌の中には、神

の恵みによって、来年もまた実り多い年で豊でありますようにという、深く強い願いが込められています。文明の発生を促し、川魚・生水の恵みにより人々の生活を支え続けて来た球磨川はじめ河川集落の人々の生活習慣の中には、川祭り・水神祭が生きています。年中行事である祭りを通して崇高な精神を培い、共同体を強くし、球磨村の降昌と共存共栄を祈り、実践に努めたいと願っています。



編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

本年も議会広報をご愛読いただき
ますよう、よろしくお願
いいたします。

昨秋は大きな災害が無かったせ
いか、紅葉も久々に綺麗でした。
秋といえばお祭り、収穫の感
謝と来年への願いを込めて、神
社大祭を始め、地域の山神祭が
伝統行事として伝わっています。

私も各地の祭りに参拝させて
いただき、なつかしい球磨弁「よ
かウレー（潤い）ですな」も
聞きました。今年は村民皆様に
とりまして潤いのある明るい年
と成りますようご祈念をいたし
ます。

(毎床 文博)

広報委員長 多武 義治
広報副委員長 高澤 康成
広報委員 毎床 文博
広報委員 嶽本 孝司